



Web 交流プログラム **DOTS**

**Colorbath**

想いをカタチに、未来をつむぐ



知らない世界がつながる



違う国のともだちとコミュニケーション



新しい世界は楽しい



# 世界とつながる原体験を

世界はもっと身近だし、もっと"ふつう"につながる。

海外の生徒との対話を通して世界のことを知ったり、

同時に日本のことについて改めて知る機会をつくりたい。

「正解が1つではない社会」を生きていく子どもたちに対して、

"自分の意見"を自信を持って伝えること、

コミュニケーションに"自信を持つ"こと、

そして世界に関心を持つことをサポートし、

子どもたちの可能性を最大限引き出し、世界の扉を広げていきます。

# DOTSとは

ネパール・マラウイという  
未知なる国とのつながりを通して  
みえる世界をひろげ  
新たな一歩を後押しするプログラムです。

海外とのweb交流は、あくまで一つの「点」であり、  
きっかけ。

そんな「点」を少しずつ積み重ねていくことで、  
人生は確実に豊かになっていきます。

ICTを活用した国際交流に取り組もうとする学校、  
先生をサポートすることで、子どもたちに  
“世界とつながる原体験”を届けていきます。





# DOTSが大切にする考え方①



プログラムの「成功」よりも、  
子どもたちの「成長」を大切にする



「うまく言えなかった」という経験から、  
「次はもっと伝えたい」というモチベーションにつなげる



失敗経験をたくさん積みながら  
成長していけるサポートをする



「英語を使う」ということを主の目的にしない。  
言語は問わず、コミュニケーションを楽しむことを大切にする



# DOTSが大切にする考え方 ③



「頭」で議論するのではなく、「心」でつながり交流する。  
自発的なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築することが大切。

discussion ではなく conversation  
議論 会話



「議論すべきテーマ」ではなく、あくまで生徒の関心のある領域での  
「話題」を設定し、自由に広げ、深める。好奇心を持つことが大切。

theme ではなく topic  
テーマ 話題



# 先生や学校にとってのDOTSとは…

## 先生

### が直面している課題

#### 課題

- 先生方が多忙で、海外の学校と交流を持つ機会を設けることが難しい。
- 先生方が多忙で、新しい取り組みを実践する時間や余裕がない

#### DOTSに できること

- 海外校の紹介、カリキュラム設計、当日のプログラム実施まで、豊富なノウハウを活かしてサポートする。
- 海外校の紹介、カリキュラム設計、ICT活用方法、当日のプログラム実施まで、豊富なノウハウを活かしてサポートする。

#### ビジョン

- 最終的に、Colorbathのサポートなしでweb交流を実施できるようになり、世界と繋がる機会が豊富な学校になる。
- 先生が外部機関の力も借りながら、多様な学びの機会を生徒に届けられるようになる



# 先生のための5か条

## 1 生徒は「話したい」「聞きたい」に必ず出逢う

「もっと知りたい!」という、生徒自身の内発的なモチベーションを大切にしましょう。

## 2 どんな感情も受け止める

沈黙、不安、恥ずかしさがあっても大丈夫、それも含めて大事な経験だと伝えましょう。

## 3 準備はほどほどに

入念すぎる事前準備は必要ありません。生徒がその場で発した思いを自由に発言できるような雰囲気づくりを心がけましょう。「プログラムの成功」ではなく、「子どもたちの成長」を大切に。

## 4 先生も楽しむ

先生が楽しむことで、生徒も思いっきり楽しむことができます。

## 5 新しい教育を実践するきっかけに

未知なることへの挑戦は、その一歩目から始まります。まずはやってみましょう。



# Colorbathのサポート内容一覧

プログラム開発、ファシリテーション、現地の調整等、トータルでサポート。

学校同士で直接実施できるよう先生方向け研修も行います。

## 準備

- 事前学習のワークショップを担当、相手国の文化理解、コミュニケーション能力向上のためのワーク
- トータルの教育プログラム
- カリキュラムの設計
- 相手国との日程や交流内容の調整と研修
- 交流サポートアイテムの提供

## 実施当日

- 相手国での接続、ファシリテーション調整
- 学校でのファシリテーション、通訳サポート
- 生徒に対するアイスブレイク
- 英語の手紙交流のサポート

## さらなる 学び

- 実施後の振り返り学習会を担当
- ご要望に応じて、講演やワークショップを別途行なうことも可能
- ファシリテーション研修の実施

テーマ例 海外留学、途上国支援、キャリア講演、英語学習法

# 交流サポートアイテム一覧



## サポートボード

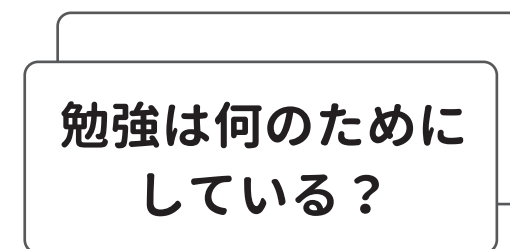
対話をする上で必要となる簡単な表現をカメラにも見せながら交流することで、生徒同士でのスムーズなやりとりができるようにする。

☺ Difference and Similarity

Exams	School Lunch	School Uniform
Sports Club	School Life	School Rule
Homework	What we like	What we dislike

## トピックボード

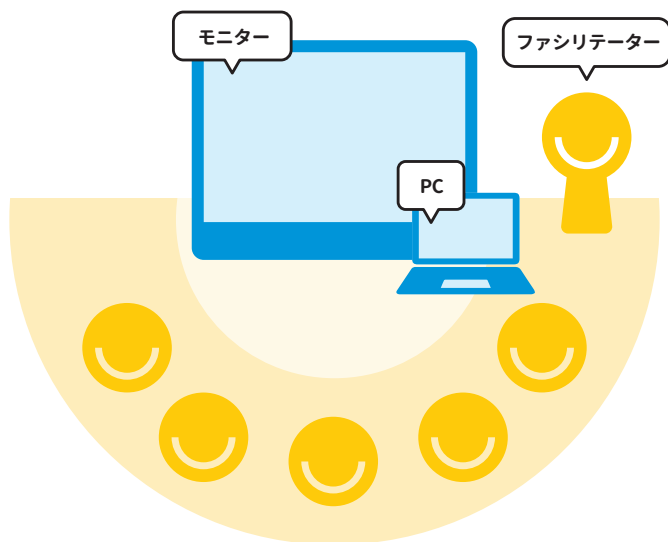
交流トピックを記載し、双方で聞きたいキーワードを指定することで、交流を円滑に進行する。相手が聞きたいキーワードがその場で指定されるので、リアルで臨場感のある交流ができる。



## クエスチョンカード

生徒同士でやりとりをしてほしいトピックをカードに記入して、複数用意しておき、交流の際にランダムにピックアップして話題のきっかけをつくる。

# 基本的なセッティング



## 基本セッティング

- パソコンを囲むように半円で座る
- 座布団などで地べたにすわることをおすすめ
- 人数が多い場合は半円を二列にする

## 注意点

- 話す人はできる限りマイクに近づいて話す
- モニターとカメラをほぼ同じ位置にセットし、カメラ目線で話をしているようにする
- 部屋の明るさを確認する
- 話すときに、名札をしっかり見せる
- 話す人の順番などは決めずに「全員で考えて答える」雰囲気をつくる

